

「心を開く」「相手に近づく」

校長 尾崎 淳一



先日、私の机の上に、この写真がありました。もちろん、実物はこんなに細長くありません……。竜北3年生の皆さんは覚えていることでしょう。修学旅行の初日、それぞれのペンションに分かれる前に、**夕暮れの山中湖畔で撮影した学年の「メモリアルフォト」**です。私の記憶では、竜北3年生は、この全体写真に続けてクラス写真を撮ったのではないのでしょうか。私も一緒に写る気満々で、湖に向かって様々なポーズを試しているうちに、気付けば全クラスが撮影を終えていました。そうなのです、私の名前が呼ばれることはなかったのです。大丈夫ですよ、少しも気にしていませんから……。あれから4か月半が過ぎ、今日から10月となりました。さらにあと4か月半が経てば2月中旬、卒業式も目の前の時期となります。**時の流れは驚くほど早いものです。**

さて、久しぶりに、名作との呼び声が高い修学旅行のしおり『**宝石～全員で、最高の思い出を作ろう！～**』を開いてみました。ページを繰（く）るたびに、楽しく充実した3日間が、私の脳裏に鮮やかに甦（よみがえ）ってきました。「間に合わなかったクラス写真」に加え、「友達はテレビオンリー、ペンションの一人部屋」「楽しげな竜北生&教員を遠くからただ見守ったTDL」「道行く人の不審そうな視線に耐え、道標（みちしるべ）に徹した東京駅地下街」などなど、私だけの素敵すぎる思い出もいっぱいです。



ところで、修学旅行においては、**「あいさつにこだわる」**という竜北3年生の強い思いが感じられ、素敵でした。あいさつは簡単に思えても難しく、大人でも意識しないとできません。ただ、自分からあいさつできた時、相手からあいさつされた時は、心がとても温かくなるのも事実です。そこで、私は「あいさつとは何なのか？」を調べてみました。

漢字では**「挨拶」**と書く。**「挨」**は**心を開く**、**「拶」**は**相手に近づく**という意味である。よって、**「挨拶」**とは**【心を開いて相手に近づく】**ことである。

挨拶は人間関係の基本であり、どんなに人柄が良くても、挨拶ができなければ良好な関係を築くことは難しい。挨拶は、**「あなたに好意をもっています」**というサインであると言える。

確かに、人間関係の第一歩は、**「自分から相手に心を開いて、自分から相手に近づいていく」**こと、すなわち**「挨拶」**を大切にすることかも知れません。挨拶はもともと仏教の言葉だそうですが、形式だけでなくお互いに自分の心を開き、相手を大切にするためのコミュニケーションツールとして活用できたらいいですね。お金はかかりませんから。素敵な「あいさつ」に溢れた竜北中学校になりますように。それが私の願いです。

2025年も後半戦となりました。心新たに、爽やかに、秋空高く、**「竜北生、G o !!」**

第26号でお知らせしたとおり、10月23日に研究発表会を開催します。先日は「保護者ボランティア」の依頼文書を配付したところ、お返事をいただきありがとうございました。もう少し人数が欲しい、というのが現状と本音です。短い時間でも構いませんので、お力添えが可能となった場合は、教頭までお知らせいただければ嬉しいです！

（令和7年10月1日）